

市民福祉講座 6

「未来を担う子どもたちに、私たちができること」

「多世代でつくる子育て支援」

子民家「こどもの宙（そら）」の活動から

2015年12月19日 下関市社会福祉センター

講師 今村 方子

(NPO法人下関子ども・子育てネット理事長)

●「NPO法人下関子ども・子育てネット」について

・目的・この法人は、下関市及びその周辺地域の人々に対して、子育て環境の整備に関する事業を行い、地域社会における様々な機関が連携することでより良い子育て環境のしくみを作り、地域全体で支援出来る社会づくりに寄与することを目的とする。（定款）



●地域子育て支援拠点施設子民家「こどもの宙（そら）」について

・この施設は、「NPO法人下関子ども・子育てネット」が、下関市地域子育て支援拠点事業の委託事業として実施しています。

地域の自然や生活、文化を大事にする育児環境の中で、大きな自分育ちの空間をめざします。

- *居場所（子育て中の方々が気軽に集う場所）
- *相談（子育ての不安や悩みなどを気軽に相談）
- *講座（子育てに関する講座の開催）
- *情報（情報紙「こそら通信」を毎月発行）

◆毎週月～金曜日10時～15時

（参加時間は自由12時ランチタイム）

◆毎週木曜日…「こそらもりのひろば」「深坂自然の森」で遊ぶプログラム

（註）地域子育て支援拠点事業…子どもや子育ての環境が大きく変化する（少子化・核家族化・地域社会の変化など）中で、子育ての不安等を和らげ、健やかな育ちを支援することを目的に、地域に拠点施設を設けて子育て支援機能の充実を図る取り組み。（厚労省の施策）

アンケートから

* 20～30歳代女性

・「こどもの宙」という場所が、利用者にとってすごく心地良いものになっているんだなと感じました。私自身、地域との交流などが少ない子ども時代だったので、このような場所があると、さまざまな人との交流ができて、良い経験になるんだろうなと思いました。写真を見て、本当におばあちゃんの家のような場所だなと感じました。

また、小学生や中学生の時に、無邪気に遊ぶことができる場があるということは、すごくうらやましいなと思いました。

「二度とない子ども時代を見守る地域のとりくみ」

～生野あそぼう会23年間の歩みから～

講 師 井 上 幸 子
(生野あそぼう会代表)

●井上幸子氏の活動について地域の応援団として

「生野あそぼう会代表」「下関放課後子どもプランコーディネーター」

「山の田中学校区にじいろネットチーフ・コーディネーター」

・活動の実際

◆「下関市放課後子ども教室」の活動（集団あそび、ものづくり、体験学習など）

① 「生野あそぼう会」・・・平成3年～開始・1,3 水曜日・会員：生野小51名

② 「放課後ひろば山の田」・・・平成16年～・2,4,5水曜日・会員：山の田小74名

③ 「ちゃれく」（生野・山の田合同チャレンジクラブ）・・・日祭日・生野小、山の田小

（註）“放課後子ども教室推進事業”（文部科学省）…青少年の問題行動の深刻化、地域や家庭の教育力の低下等の課題に対して、未来の日本を創る心豊かでたくましい子供を社会全体で育むための事業。平成16～18年に緊急3カ年計画として実施され、平成19年度より創設された。市町村が主体で、国は各地の取組を支援（予算補助）する。

◆「コミュニティ・スクールにじいろネット」の活動

① 「子育て井戸端会議」・・・平成24年～・1学期に1回・生野小(多世代交流親, 地域, 学校)

② 「ぶらっと山の田」・・・平成25年～・月1回金曜日午後・山の田中(生徒と地域の交流)

③ 「サタスタ山の田」・・・平成26年～・毎週土曜日・山の田中（中学生の学習支援）

④ 「山の田中学朝読絵本」・・・平成27年～・未定（心を耕す取り組み）

⑤ 「にじいろネット応援団による支援活動」（学校の要請で随時実施）

（註）“コミュニティ・スクール”（学校運営協議会制度）（文部科学省）…学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合って学校運営に反映させ、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める取り組み。



* 40～50歳代女性

- ・子育ての現状が、よく分かりました。

核家族が増え、働いている両親が、頑張って子どもを育てている家庭が増えていると思います。本日の講師がされている活動が、下関のあちこちに広がり、いつでも、どこでも、安心して子育てができる下関になってほしいと思います。

私も、何かお手伝いができたらと思いました。良いお話、ありがとうございました。

- ・「生野あそぼう会」の次々に世の中に適応して変化していくのが、時代を見るようでよく分かりました。こうした活動は、現在とても必要とされているものと思います。

また、責任が担える二代目、三代目にこの活動を伝えてくださるといいなと思います。

「来たくない」と言いに来て、毎回来ているという子どもの話、よく分かります。

* 60歳代女性

- ・子育て支援の実情などは、なかなか知ることができないので、良い機会で、よく分かりました。こうした活動をもっと皆さんに知っていただくことが大切だと思います。

どこでも支援ができ、受けられるようになればいいなと思います。

- ・今時の親と子供の関わり方や、環境によって変わることなど、日頃子供との関わりを持っていない私にとっては、すごく勉強になりました。

- ・子どもに関しては、なかなか見えない状況ですが、これからの下関に一番必要なことです。特に井上さんの活動には頭が下がります。

また、今後のホーモイの活動には、貧困の子どもたちの情報の必要性も大きいと思います。

今回の講座（6講座）を聞いて、次は実践あるのみと思います。

- ・今日の2つの講座を、もっとたくさんの方々に聞いてほしいと思いました。

- ・できることを、続けていくことの大切さを改めて感じました。

よきお節介をやっていたらと思います。

* 70歳代女性

- ・（その1）親子で参加できるということがとても良いことだと思います。こういう場所が市内にたくさんできると、子育ても楽しくなり、出生率も上がるのではないかと思います。

また、こういう場所で育ったら、いじめも無くなるのではないかと思います。

- ・（その1）私たちの育った環境や地域力の低下で、子供が豊かに育ちにくい現状があります。そうした状況を改善するための国の後押しで始まった活動だと思いますが、子育て環境の整備地域全体で支援できる社会づくりを目的に活動されています。

これをモデルに、各地域でこのような場や活動ができることを願っています。多世代交流の場が各地に必要ですね。

- ・（その2）井上さんが児童の活動支援を始められた頃は、学校も閉鎖的で、大変だったことを聞いていました。子供の育ちに、親だけでも学校だけでも弊害が生じる現実、「おせっかいな大人」の力が必要です。そのモデルですね。

子供は、親、学校、地域のコミュニケーションやそこから生まれる信頼の中で育つものだと思います。それぞれが関わろうとしない現状を改め、一人ひとりが「おせっかいおばさん」になろうではありませんか。

井上さんは、本当に子供が大好きな方ですねー。

＊ 80歳以上女性

・（その１）核家族の世の中に、頼れる空間があるということ、自分一人で苦しんだり悩んだりしないでいいということは、何と安心なことでしょう。私の子育ての頃でも、泣き止まない子供に手を焼いた思い出があり、そんな時、心の拠り所があることはうれしいことです。子育て中の皆さん、悩まずにしっかり頼っていったらいかがですか。

・（その２）井上先生いろいろな事を考えながら活動される方、頭が下がります。

子供と大人の絆がもっと広がるといいと思います。声を掛け合う生活をしようと思います。

・子民家「こどもの宙」、今日初めて知りました。大変良いお話だと思います。頑張ってください。井上先生、積極的で、すごいバイタリティー。よく頑張っておいでです。これからもよろしくお願いします。